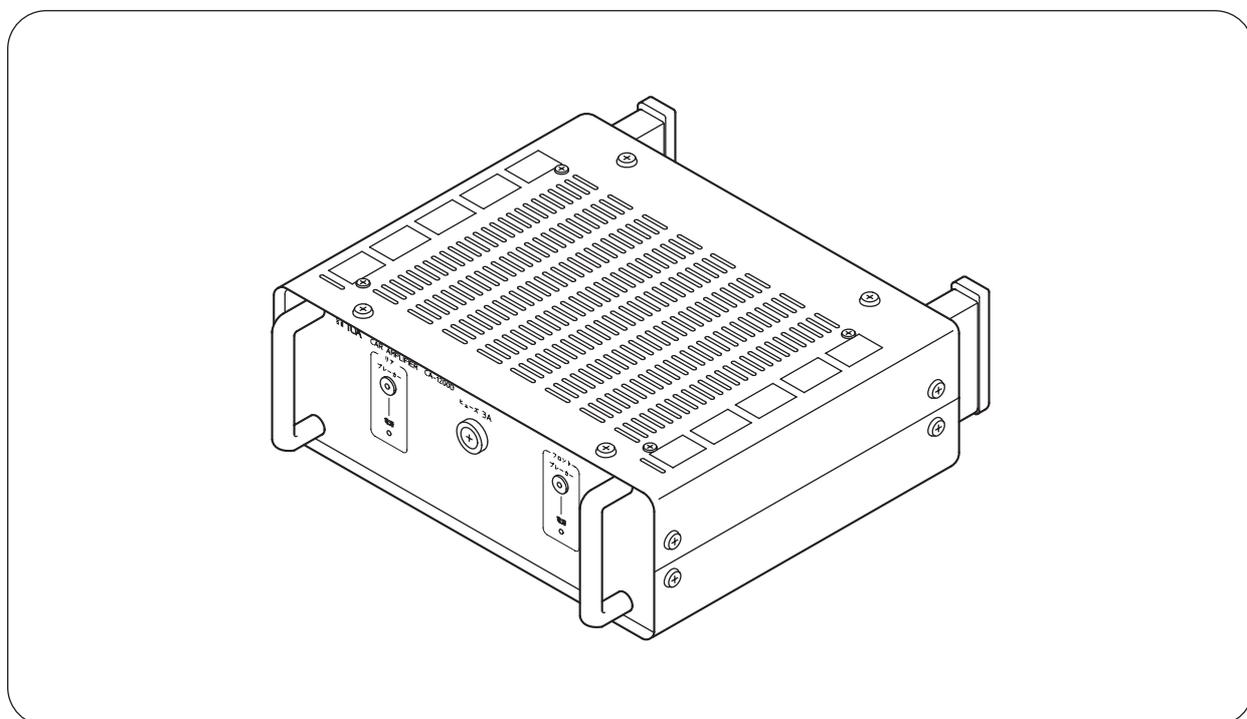




取扱説明書

車載用アンプ

CA-1200D



このたびは、TOA 車載用アンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

TOA 株式会社

目次

安全上のご注意	3
概 要	5
特 長	5
使用上のご注意	5
各部の名称とはたらき	
前 面	6
後 面	6
操作のしかた	
リモートミキサー MX-1200D、MX-1200 による電源操作	7
インピーダンス切換端子について	7
アンプの増設のしかた	7
接続のしかた	
電源・リモートミキサー・増設用コードの接続	
アンプを1台使用するとき	8
アンプを2台使用するとき	9
アンプを3台以上使用するとき（最大5台）	9
スピーカーの接続	
120 W セットの場合	10
240 W セットの場合	10
480 W セットの場合	12
ブロックダイヤグラム	13
外観寸法図	14
仕 様	15
付属品	15
別売品	15

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
	
禁 止	強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



禁 止

じゃまになる場所に取り付けない

以下の場所には取り付けないでください。
交通事故やけがの原因となります。

- 車の運転に支障のある場所
- 乗降時に身体や衣服が引っかかる場所



禁 止

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、リモートミキサーの電源スイッチを切り、電源コードを外して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



強 制



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

ヒューズの交換は、付属のものを使用する。

交換する場合は、付属のヒューズ（3 A）以外は使用しないでください。守らないと、火災・感電の原因となります。



強制

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

電源の極性を間違えない

電源コードの接続はプラス(+)、マイナス(-)を間違えないようにしてください。アンプや車の故障の原因となることがあります。



禁止

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をしてください。守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



強制

金属のエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。



禁止

配線はアンプの電源を切ってから行う

電源を入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。



強制

アンプを積み重ねるときは、3 台までとする。

4 台使用するときには 2 台ずつ重ね、5 台使用するときには 3 台と 2 台に分けて据え付けてください。守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



強制

使用するとき

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。



強制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない

本機に乗ったりしないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

概要

本機は、直流電源（12 V バッテリー）で動作する車載用アンプです。
別売のリモートミキサー MX-1200D および MX-1200 と組み合わせることにより自動車による広報活動・選挙運動などに適した大出力が得られます。

特長

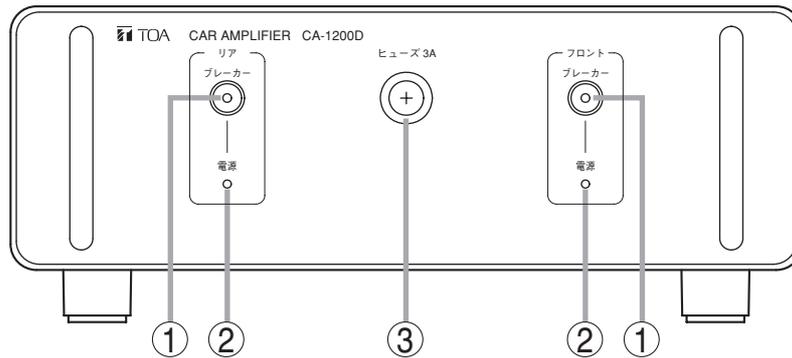
- **120 W の大出力**
定格出力は 120 W です。
また、増設することで最大 600 W（5 台接続時）まで出力を増やすことができます。
- **2 系統のパワーアンプ**
 - ・フロントとリアの 2 系統があり、万一、1 つの系統に支障が起きても、他の系統は異常なく動作できる 1 アンプ / 1 スピーカー方式です。
 - ・必要な方向だけのスピーカーを鳴らすことでバッテリー消費も少なく、省エネルギー設計になっています。
- **系統ごとに音量調節器を装備**
フロント、リアの各系統ごとに音量調節器を装備していますので、あらかじめ調節しておくことにより、ハウリング*を軽減することができます。
* スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまい、その音をまたアンプが増幅し、さらにスピーカーが拡声するという一種のループ状態が生じて、キーンという音がすること。
- **使いやすさの向上**
 - ・出力インピーダンスは 4 Ω と 8 Ω に切り換えることができますので、いろいろなスピーカーの組み合わせに対応できます。
 - ・別売のリモートミキサー MX-1200D を接続することにより、電源の ON/OFF 制御、有線マイク（2 本）、予備入力、ワイヤレスマイクが使用できます。
 - ・別売のリモートミキサー MX-1200 を接続することにより、電源の ON/OFF 制御、有線マイク（2 本）、予備入力が使用できます。
 - ・別売のリモートミキサー MX-1200D と MX-1200 の同時使用ができます。この場合、有線マイクは 4 本まで使用できます。
- **メンテナンス性の向上**
ブレーカーやヒューズホルダー（交換口）を前面に配置することで、メンテナンス性を向上しています。

使用上のご注意

- 本機は直流電源（12 V バッテリー）で動作するアンプです。
DC24 V バッテリー、AC 電源などで使用しないでください。
- 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがあります。
携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
- 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。

各部の名称とはたらき

[前面]



1. フロント・リアブレーカー

押し込んだ位置が正常状態で、電源またはスピーカーの接続不良やアンプの故障などの異常発生時は、飛び出した位置となります。

※ 作動すると、電源が入りません。

※ 押し込むと復帰しますが、押ししても再び異常状態になるときは、販売店に修理を依頼してください。

2. フロント・リア電源表示灯

フロントまたはリア系統のアンプの電源が入ると点灯します。

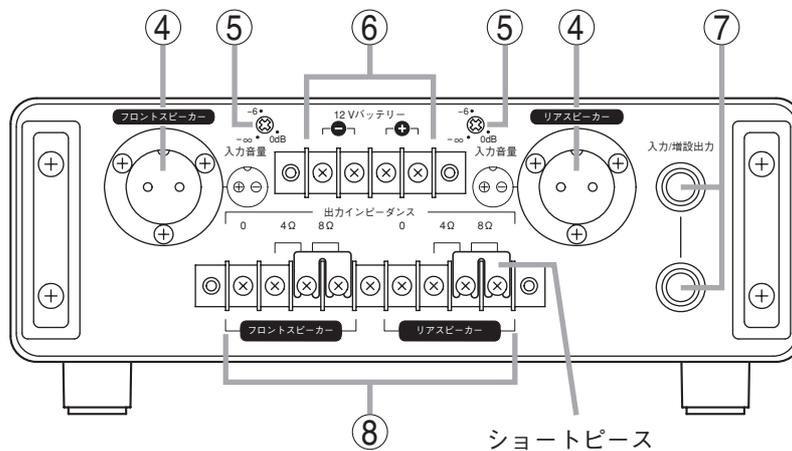
3. ヒューズ

プリアンプ用の保護ヒューズです。プリアンプが故障時に、ヒューズが切れることがあります。

警告

ヒューズを交換する場合は、切れた原因を取り除き、付属のもの (3 A) を使用してください。指定外のヒューズを使うと、火災・感電の原因となります。

[後面]



4. フロント・リアスピーカー接続コネクター

スピーカーを接続します。

※ 参照 P. 10 「スピーカーの接続」

5. フロント・リア入力音量調節器

本機のフロントまたはリアの入力音量を調節します。

※ 工場出荷時：0 dB (時計方向一杯)

6. 電源接続端子

DC12 V バッテリー (120 Ah 以上) を接続します。

※ 参照 P. 8 「電源・リモートミキサー・増設用コードの接続」

7. アンプ接続端子

別売のリモートミキサー (MX-1200D、MX-1200) やパワーアンプを増設するときに接続します。

※ 参照 P. 8 「電源・リモートミキサー・増設用コードの接続」

8. インピーダンス切換端子

出力インピーダンスを 4 Ω または 8 Ω に切り換えます。

※ 工場出荷時の設定：8 Ω

※ 参照 P. 7 「インピーダンス切換端子について」

操作のしかた

■ リモートミキサー MX-1200D、MX-1200 による電源操作

別売のリモートミキサーを2台接続した場合は、どちらか一方の電源スイッチがONになると電源が入った状態となります。したがって、片方のリモートミキサーの電源スイッチをOFFにしても、もう一方がONになっていれば電源は入ったままの状態となります。

■ インピーダンス切換端子について

ショートピースの取り付け位置によって、出力インピーダンスを4Ω、8Ωのいずれかに切り換えることができます。フロントスピーカーとリアスピーカーの2系統を正しく設定してください。

※ 工場出荷時は、フロント・リアスピーカーとも8Ωに設定しています。



アンプの増設のしかた

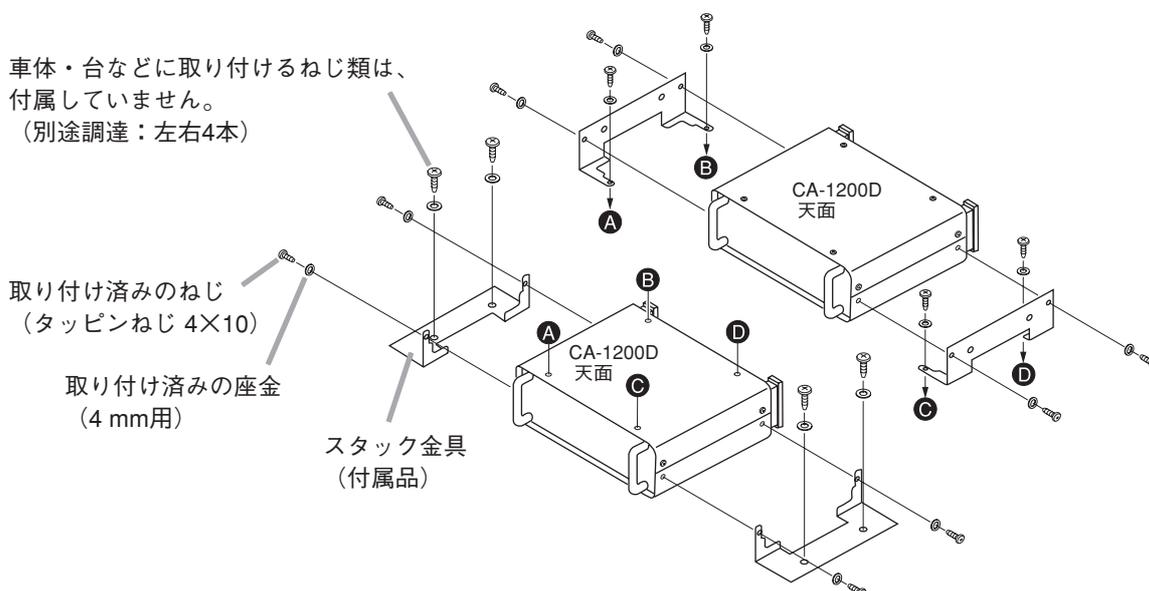
付属のスタック金具を下図のように取り付けてください。

- スタック金具をアンプ本体に取り付ける場合は、アンプに取り付け済みのねじ・座金を使用します。
- スタック金具を車体・台などに取り付けるねじ類は、付属していません。取り付け場所に適したねじを別途調達してください。



注意

アンプを積み重ねるときは、3台までとしてください。
4台使用するときには2台ずつ重ね、5台使用するときには3台と2台に分けて据え付けてください。倒れたり動いたりして、けがの原因となることがあります。



接続のしかた

■ 電源・リモートミキサー・増設用コードの接続

[電源について]



注意

電源コードの接続は極性（+、-）を間違えないようにしてください。
アンプや車の故障の原因となることがあります。

- DC12 V バッテリー（120 Ah 以上）を使用してください。

ご注意

- ・ DC24 V バッテリーは使用できません。
- ・ 自動車に設置のバッテリーと共用しないでください。
- バッテリーの（+）と（-）のそれぞれの端子を、電源接続端子の（+）と（-）端子に接続してください。
接続には、付属のバッテリーコード赤と青をお使いください。
- バッテリーはアンプ 1 台ごとに 1 つ接続してください。
- バッテリーは補充電を行ってください。
※ 増設バッテリーを車に接続して充電する場合の接続方法は、販売店にご相談ください。

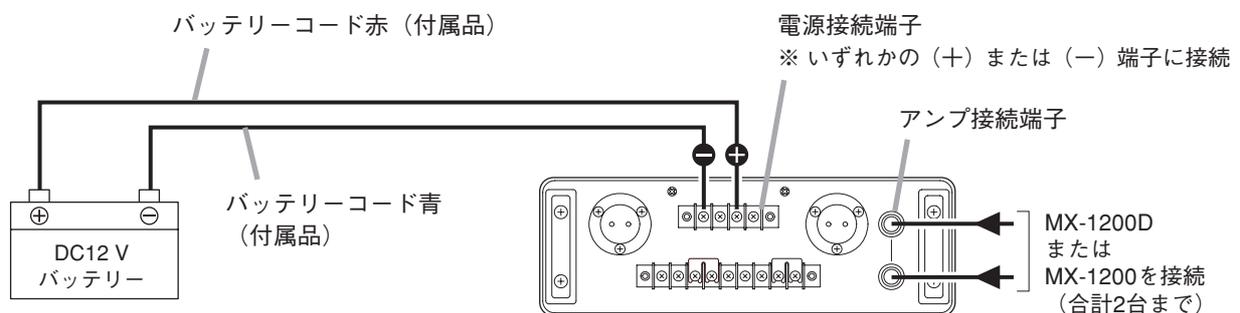
[リモートミキサーについて]

- 適用機種：MX-1200D、MX-1200
- リモートミキサーは、空いているアンプ接続端子に接続してください。
※ 詳細はリモートミキサーに付属の取扱説明書をお読みください。

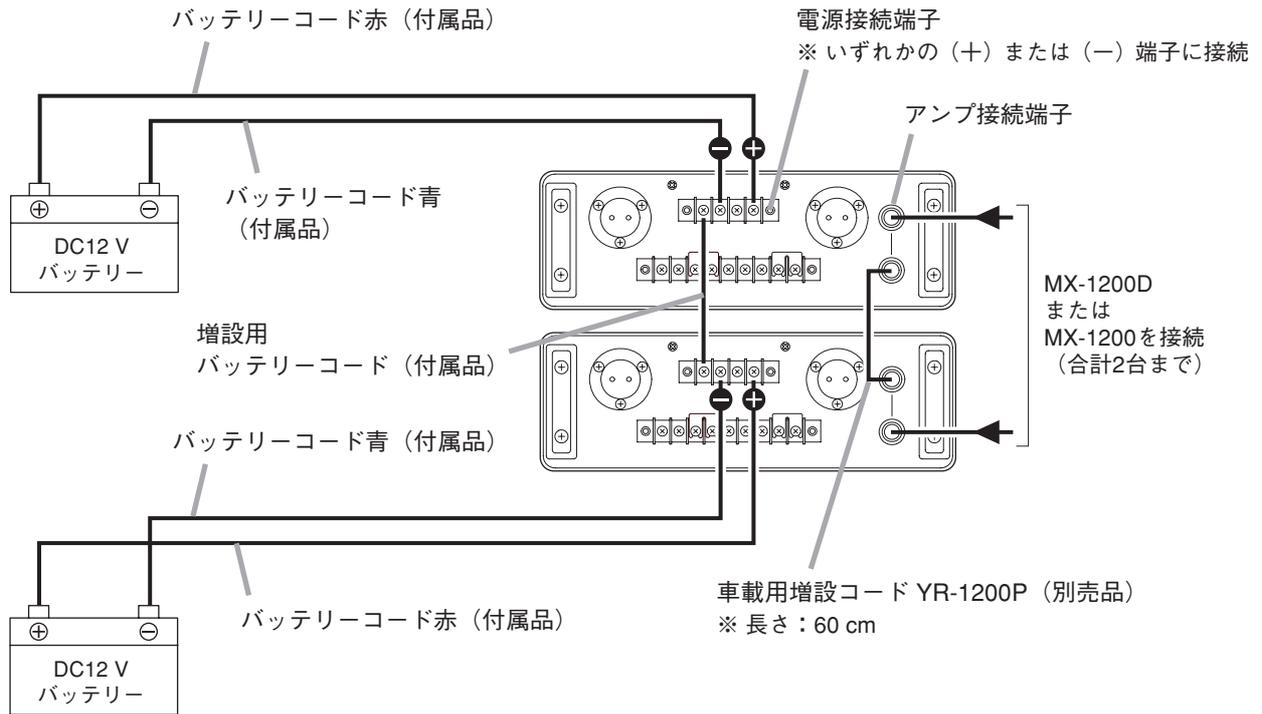
[増設用コードについて]

- 本機を増設するときは、以下のコードを使用してください。
増設用バッテリーコード（本機に付属）：電源接続端子の（-）端子どうしを接続します。（P. 9）
車載用増設コード YR-1200P（別売品）：アンプ接続端子どうしを接続します。（P. 9）

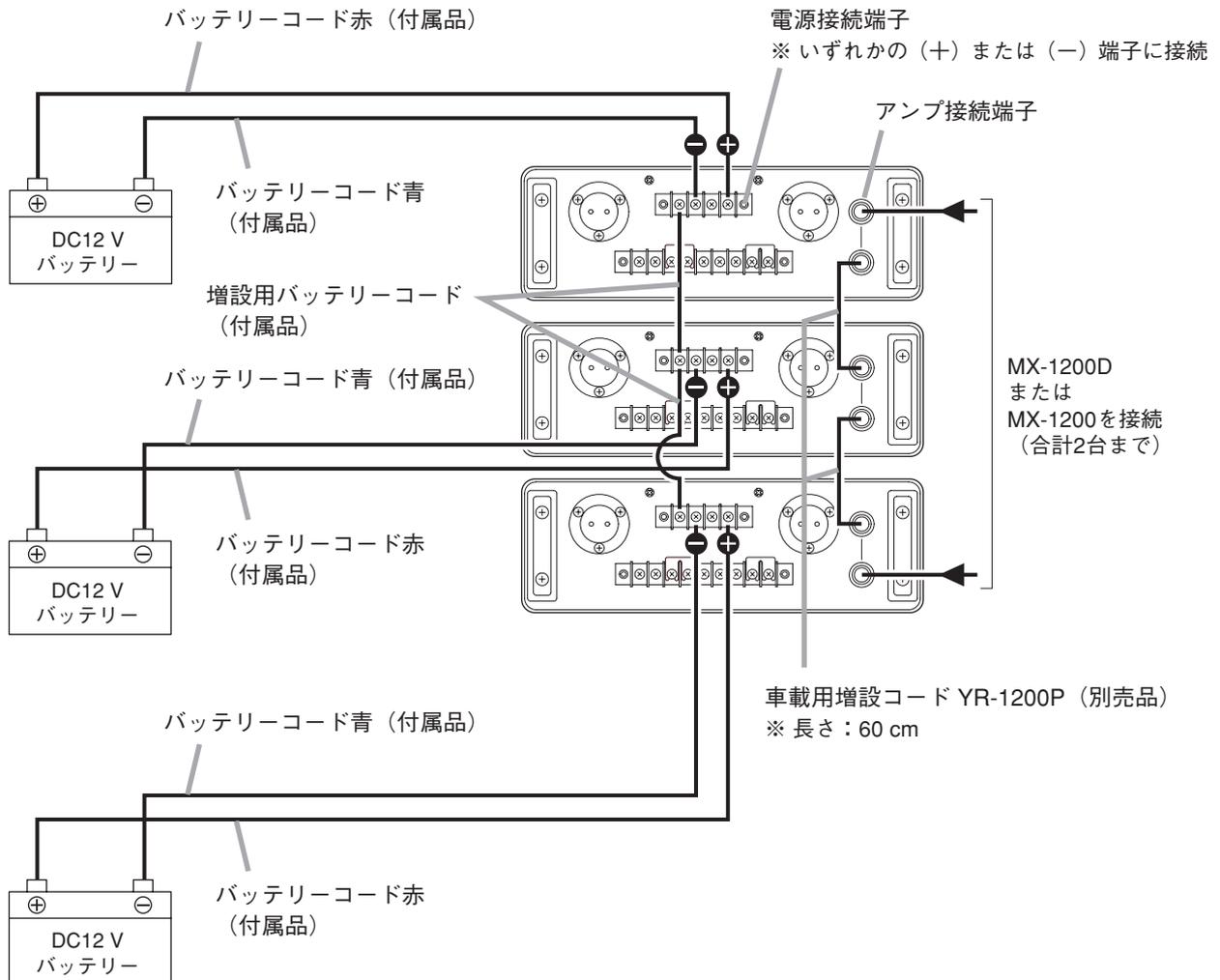
● アンプを 1 台使用するとき



● アンプを 2 台使用するとき

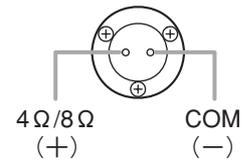


● アンプを 3 台以上使用するとき (最大 5 台)



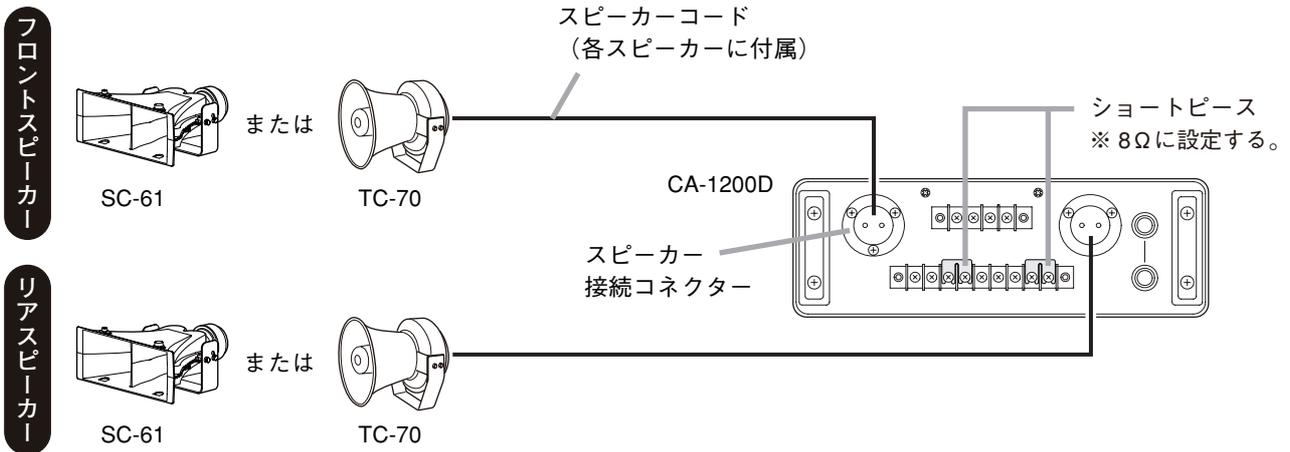
■ スピーカーの接続

- アンプとスピーカーのインピーダンスを合わせてください。
- スピーカー接続コネクターの極性は右図のとおりです。



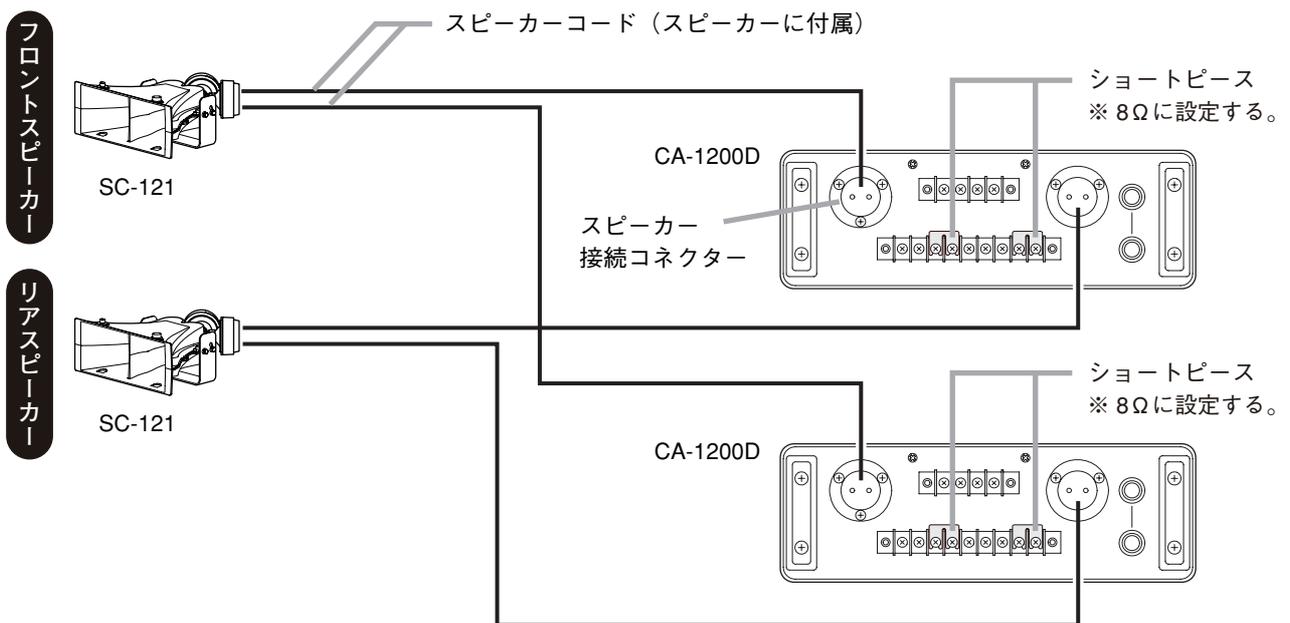
● 120 W セットの場合

例 (CA-1200D : 1 台、SC-61 または TC-70 : 2 本)

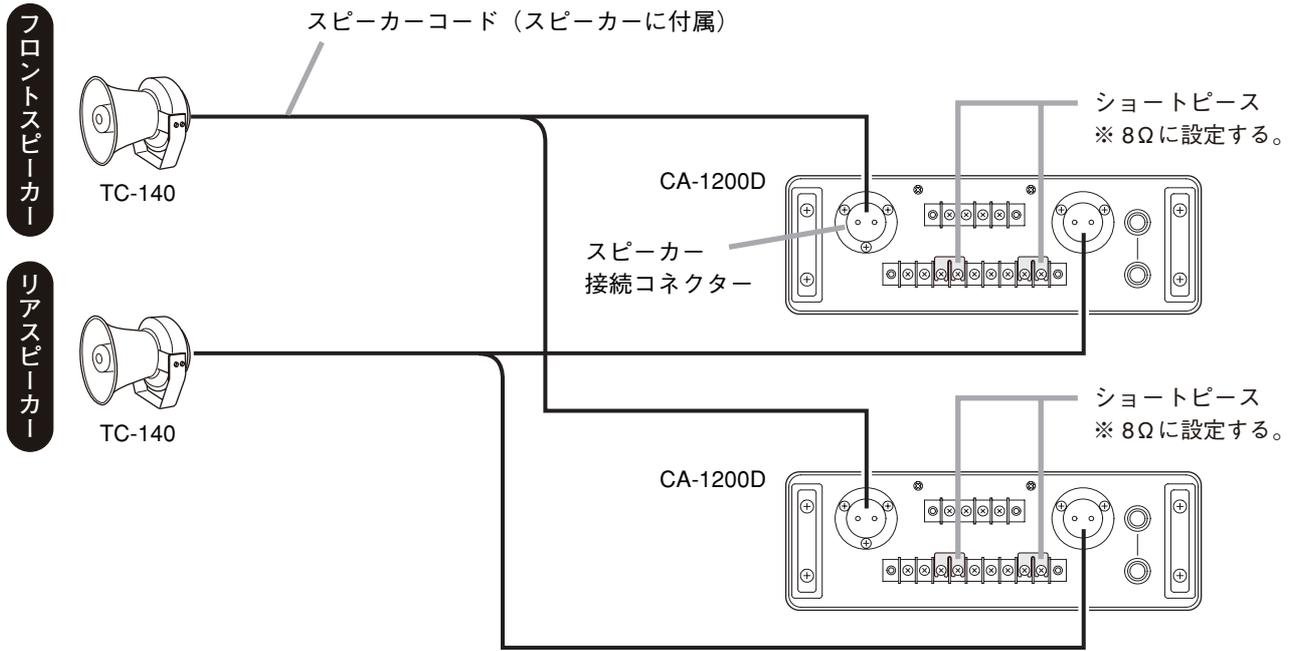


● 240 W セットの場合

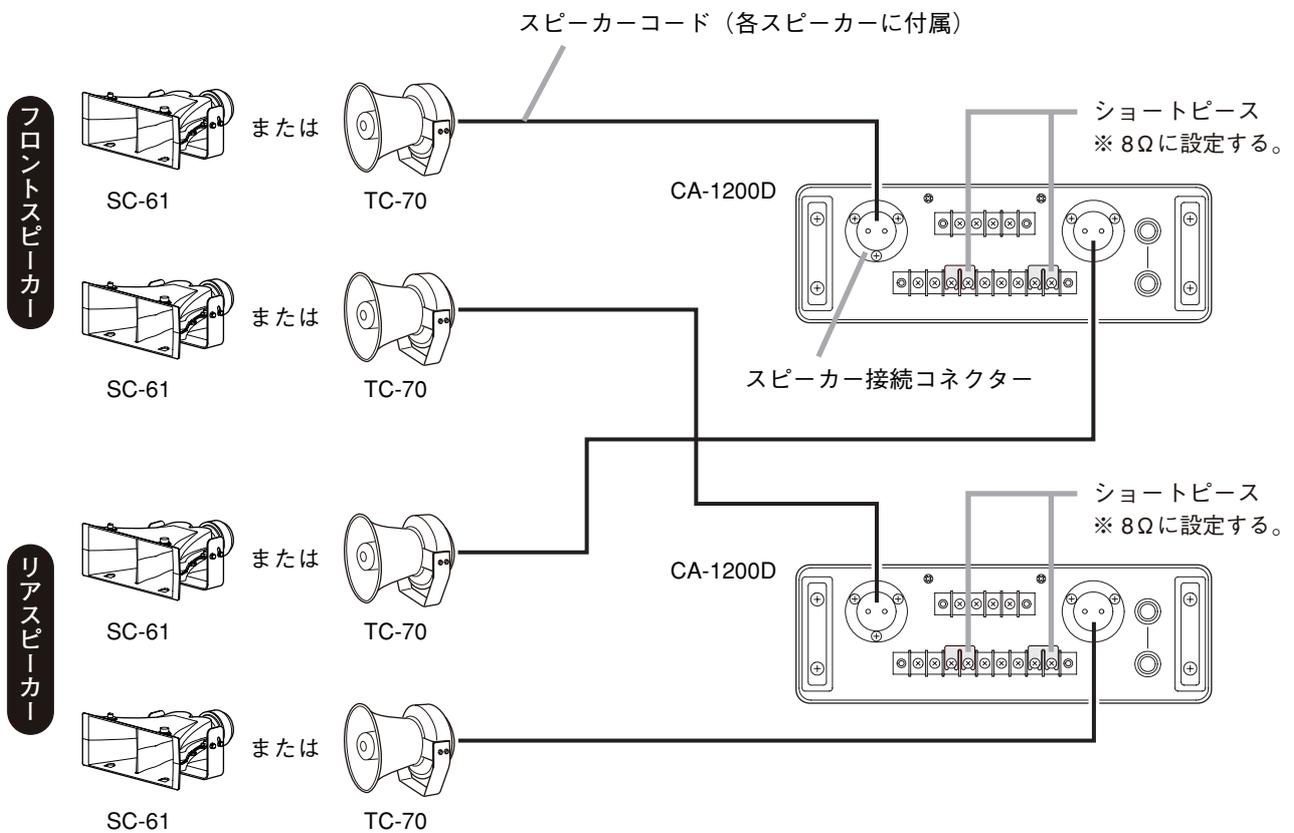
例 1 (CA-1200D : 2 台、SC-121 : 2 本)



例 2 (CA-1200D : 2 台、TC-140 : 2 本)

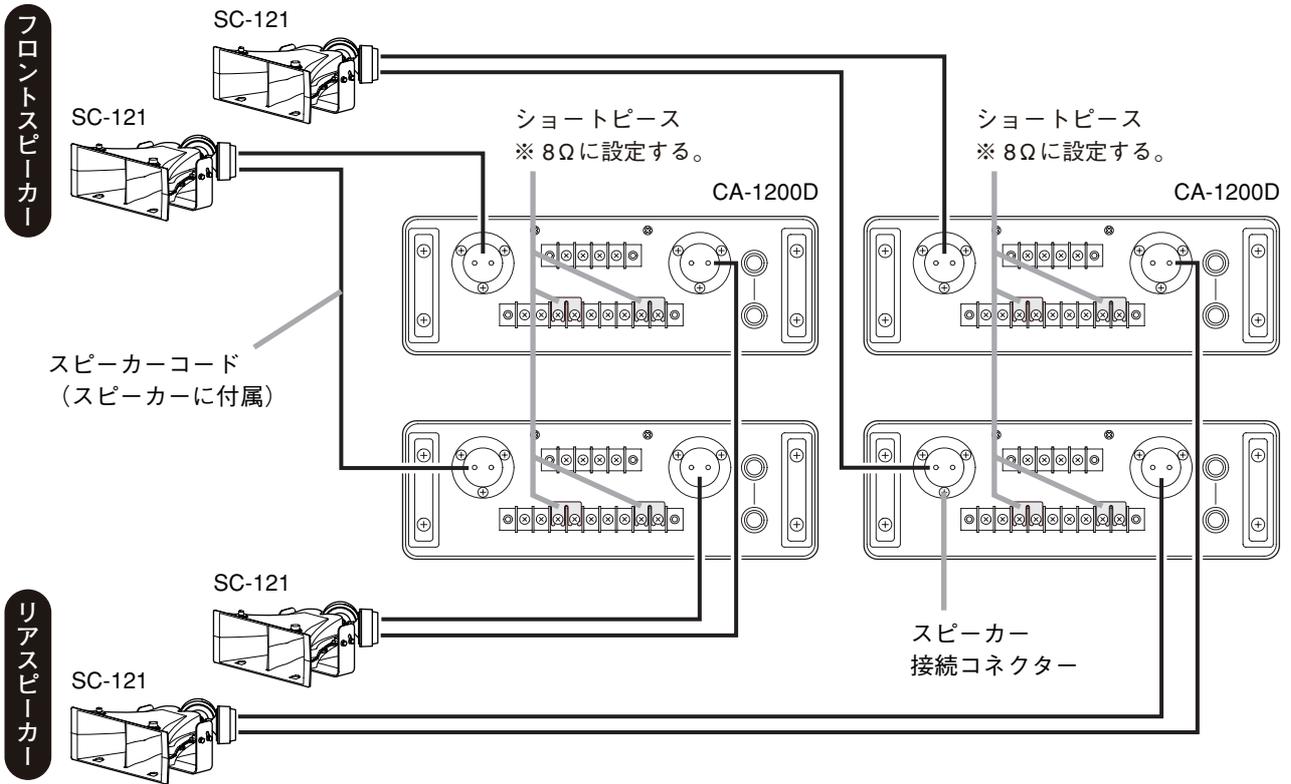


例 3 (CA-1200D : 2 台、SC-61 または TC-70 : 4 本)

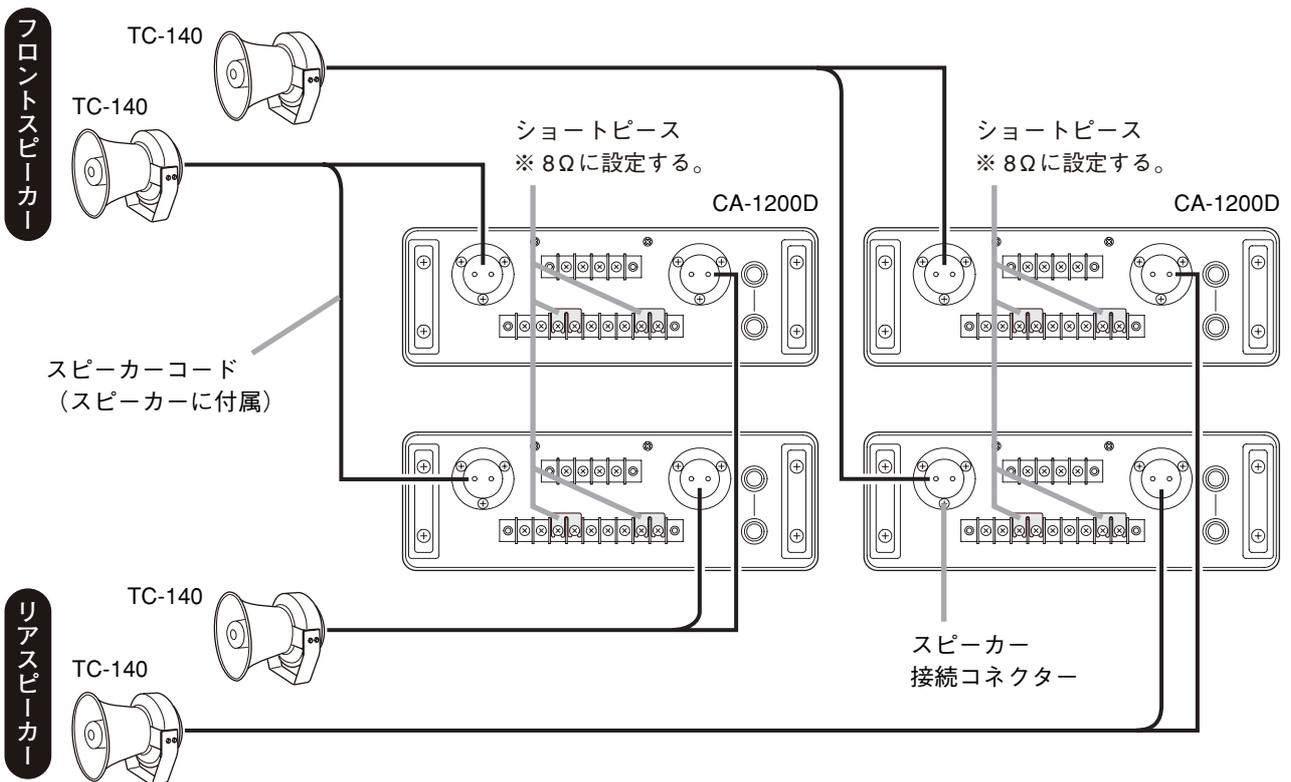


● 480 W セットの場合

例 1 (CA-1200D : 4 台、SC-121 : 4 本)



例 2 (CA-1200D : 4 台、TC-140 : 4 本)

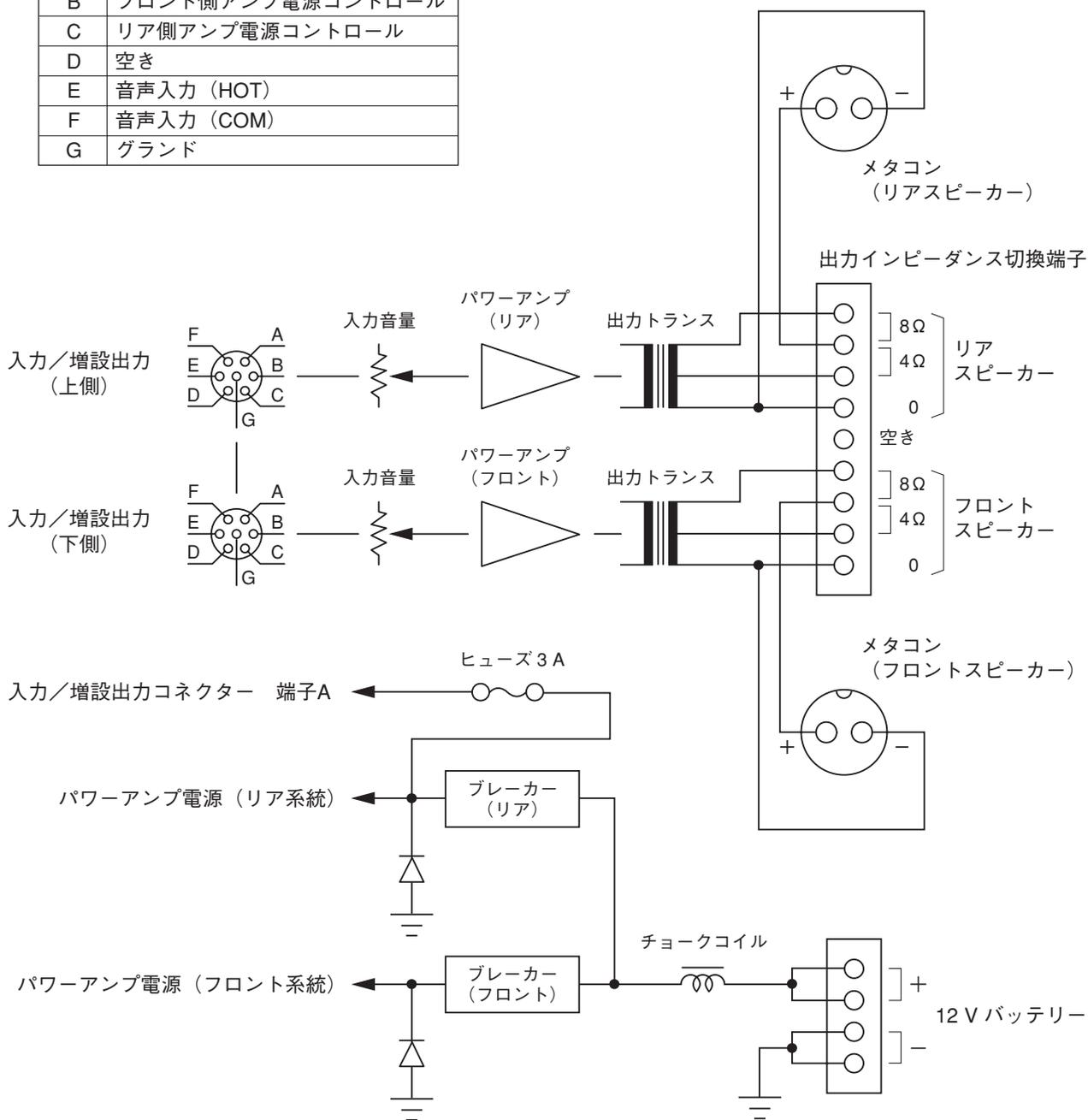


ブロックダイアグラム

入力／増設出力コネクターの端子機能

※ 2つの入力／増設出力コネクターは、内部で並列接続されています。

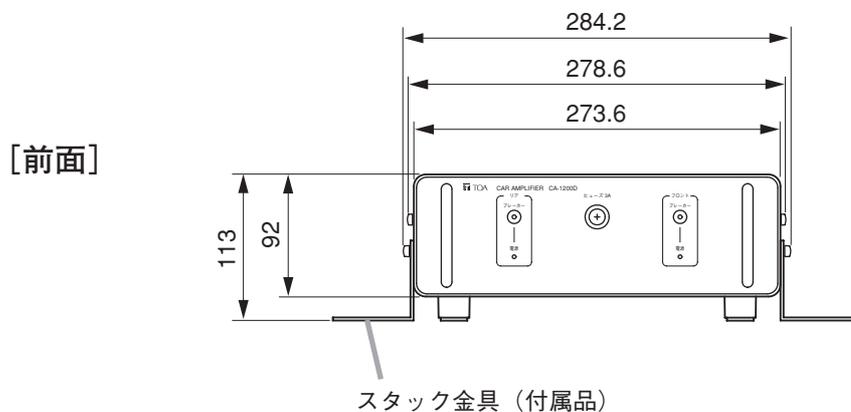
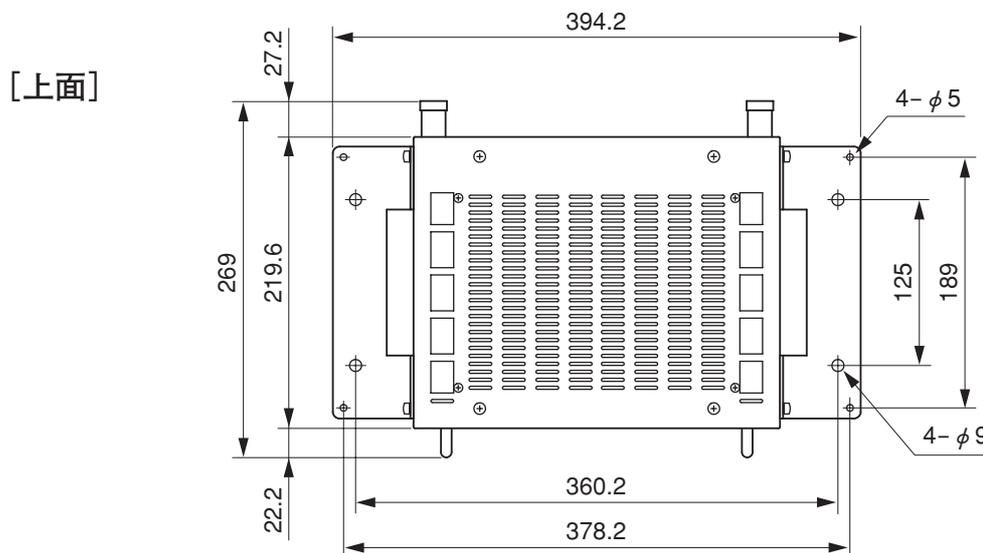
端子	機能
A	リモートミキサー電源
B	フロント側アンプ電源コントロール
C	リア側アンプ電源コントロール
D	空き
E	音声入力 (HOT)
F	音声入力 (COM)
G	グラウンド



外觀寸法図

※ 本機に付属のスタック金具を取り付けたときの図です。

単位：mm



仕 様

電 源	12 V バッテリー (120 Ah 以上、標準電圧 : DC13.2 V、使用範囲 : DC10 ~ 16 V)
消 費 電 流	18 A 以下 (定格出力時)
定 格 出 力	120 W (60 W × 2)
出カインピーダンス	4 Ω、8 Ω (ショートピースによる切り換え)
歪 率	5%以下 (1 kHz、定格出力時)
周 波 数 特 性	100 ~ 10,000 Hz ± 3 dB 以内
入 力 感 度	0 dB *、10 k Ω
仕 上 げ	パネル : プレコート鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色) ケース、シャーシ : 圧延鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、塗装
使 用 温 度 範 囲	-10 ~ +50 °C (ただし、結露しないこと)
寸 法	278.6 (幅) × 113 (高さ) × 269 (奥行) mm (突起部含む)
質 量	4.8 kg (本体のみ)

* 0 dB = 1 V

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

バッテリーコード赤 (+)	1
バッテリーコード青 (-)	1
増設用バッテリーコード 青	1
ヒューズ (3 A)	1
スタック金具	2

● 別売品

リモートミキサー	: MX-1200D、MX-1200
角形ホーンスピーカー	: SC-61、SC-121
丸形ホーンスピーカー	: TC-70、TC-140
車載用増設コード	: YR-1200P



TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)
TEL. 0120 - 108 -117

〒 665-0043 宝塚市高松町 2 番 1

号
TEL. (0797) 72-7567

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。